

地震・津波について 知ろう

震度と揺れ等の状況

南海トラフ巨大地震が発生したとき、田辺市では最大震度7が予想されています。

震度4
●ほとんどの人が驚く。
●揺動している家具が倒れる。
●揺りの悪い置物が倒れる。

震度5弱
●大半の人が恐怖を感じ、物につかまれないと感じる。
●棚にある食器類や本が落ちることがある。
●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

震度5強
●物につかまらなくなり歩くのが難しい。
●棚にある食器類や本が落ちることがある。
●固定していない家具が倒れることがある。
●揺れ強くないブロック塀が倒れることがある。

震度6弱
●揺動している家具が倒れる。
●揺りの悪い置物が倒れる。
●立てていることが困難になる。
●固定していない家具が倒れる、倒れるものも出る。ドアが閉まるなどがある。
●棚のタイルやガラスが破損、落下することがある。
●耐震性の低い木造建築物は、瓦が落下したり、建築物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

震度6強
●揺動している家具が倒れる。
●揺りの悪い置物が倒れる。
●立てていることが困難になる。
●固定していない家具が倒れる、倒れるものも出る。ドアが閉まるなどがある。
●耐震性の低い木造建築物は、傾くものや、倒れるものが多い。
●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建築物では、倒れるものが多い。

震度7
●揺動している家具が倒れる。
●揺りの悪い置物が倒れる。
●立てていることが困難になる。
●固定していない家具が倒れる、倒れるものも出る。ドアが閉まるなどがある。
●耐震性の低い木造建築物は、傾くものや、倒れるものが多い。
●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建築物では、倒れるものが多い。
●大きな地震が発生したり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

津波に関する警報と注意報

津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁より「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」が発表されます。

	発表される津波の高さ	とるべき行動	想定される被害
大津波警報 (特別警報に位置付け)	10m超(10m<予想高さ)	海岸や河川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所への避難を続けてください。	●木造家屋が全壊・流失します。 ●人は津波による流れに巻き込まれます。
	10m(5m<予想高さ≤10m)		
	5m(3m<予想高さ≤5m)		
津波警報	3m(1m<予想高さ≤3m)	高い	●海抜の低いところでは津波による浸水被害が発生します。 ●人は津波による流れに巻き込まれます。
津波注意報	1m(20cm≤予想高さ≤1m)	(表記しない)	●海の中にいる人は、ただちに海上からかって、海岸から離れてください。 ●浸水が浅くても、津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。

●津波が陸地に近い津波警報に関わらない場合があります。「陸れたら避難」を徹底しましょう。●津波は沿岸部の地形などにより局所的に予想より大きな場合があります。より高い場所を目指して避難しましょう。●地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配がない場合、または津波警報の解除後も海面変動が継続する場合には、「津波警報(低予測)」「津波注意報(低予測)」が発令されます。津波は次第に高くなる場合があります。地震の規模(マグニチュード)が小さくても続くような巨大地震の場合、最初に発表される大津波警報や津波警報では、予想される津波の高さを「巨大」「高い」という言葉で発表され、非常事態であることを伝えます。

一人ひとりが行う 自分自身の防災活動

自助・共助・公助

防災・減災のキーワードとして、「自助」「共助」「公助」という言葉がよく使われます。自助とは「自分の身は自分で守る」こと、共助とは「家族・近所でお互いに助け合い地域を守る」ことを指します。また、公助とは「公的機関からの救助や支援」を指しています。災害の発生を完全に予見し防ぐことはできませんが、自助、共助、公助が連携し、効果的に機能することで、被害を減らすことが可能となります。



今すぐできる地震対策

地震によって建物や家具が倒壊しない場合でも、大きな家具の転倒やガラスの飛散などにより、ケガをしたり、閉じ込められたりするおそれがあるので、今すぐ地震対策をしましょう。

収納に工夫を
●タンスや本棚などにものを入れる場合は、重いものは下に、軽いものは上に収納するようにしましょう。
●本棚は脚端をブックエンドで固定するなど、なるべく空間を作らないようにしましょう。

置き方に工夫を
●家具の下部の前方に転倒を防止するための板などを入れ、壁に固定しましょう。
●出入口や通路には、なるべく荷物を置かないようにしましょう。
●壁掛けの家具が倒れてこないように、配重の工夫をしましょう。

耐震金具の利用を
●転倒防止金具 壁・柱・鴨居と家具を固定するタイプと、天井などに固定するタイプがあります。家具や室内の状況によって使い分けましょう。
●重ね重ね金具 重ねた上下の家具を固定し、上の家具の落下を防止しましょう。

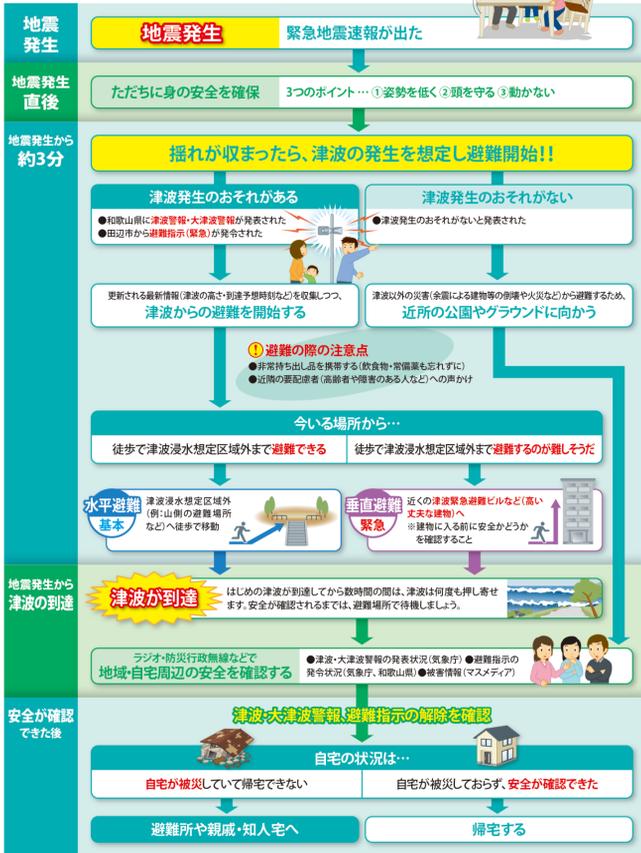
扉・引き出し開放防止金具
地震発生時に、扉・引き出しが閉まらないように固定します。さらに、収納物の落下を防止するために扉板にきんぎんを敷いたり、木や金属棒などで飛び出し防止棒をつけるなど安心です。

照明器具の補強を
●割れたガラスが飛び散るのを防ぐため、ガラス飛散防止フィルムを貼ります。
●手近な取り出しやすい所に運動靴などを用意しておく、災害時の足のケガを防止できます。
●照明器具の補強をチェーンなどで止めましょう。

ガラスの飛散防止
●割れたガラスが飛び散るのを防ぐため、ガラス飛散防止フィルムを貼ります。

透明シート
●割れたガラスが飛び散るのを防ぐため、ガラス飛散防止フィルムを貼ります。

地震・津波から 身を守るポイント



避難経路を想定して マイマップを作ろう

マイマップの作り方

地震はいつ起こるかわかりません。いろんな場面において地震や津波が起きた場合に備えて、家族みんなの避難先(裏山、高台、公園など一時的に身を守るため緊急避難する場所)を確認しておきましょう。また、表面の津波避難マップに、自分が避難する場合を想定した避難情報を書き加えて、より具体的な避難行動をイメージできるようにしておきましょう。

マイマップの記入例(表面:津波避難マップ)

①自宅や学校、勤務先等チェック
まず、津波避難マップであなたの自宅や学校、勤務先を探して、予測されている被害の有無(津波浸水想定区域に入っている、危険箇所がある等)を確認しましょう。

②避難先と避難経路を決める
次に、目標とする避難先を確認して、避難先までの経路を調べてみましょう。津波の浸水範囲にかかる道路や橋、地下道、狭い道路は避けるコースを設定しましょう。

③避難経路を歩いてみよう
実際に避難先まで歩いてみましょう。津波避難マップを持って、避難経路上の危険なところや、目印などをチェックしながら歩き、安全で避難しやすい経路や、所要時間を確認しましょう。

④津波避難マップに書き込み
安全に避難先まで行けるよう、わが家のマイマップをつくりましょう。記入例を参考に、①で調べたことを表面の津波避難マップに書き込んで、一番安全な経路を確認しましょう。

記入例
●自宅
●学校
●勤務先
●避難場所(裏山)
●避難経路
●危険箇所(橋、地下道、狭い道路)
●避難先までの所要時間(約10分)

日頃からの備えが大切 非常持ち出し品・連絡方法など

非常持ち出し品の準備

災害が発生したとき、すぐに避難しなければいけません。避難する場合に備えて、リュックサックなどに必需品をまとめ、持ち出しやすい場所に保管しておきましょう。

食料	救急・安全対策	貴重品
<input type="checkbox"/> 飲料水(1人1日2〜3リットルを目安) <input type="checkbox"/> 非常食(缶詰、乾パン、レトルト食品など) <input type="checkbox"/> 携帯食(チョコレート、キャンディーなど) <input type="checkbox"/> 粉ミルクと哺乳瓶(赤ちゃんがいる場合) <input type="checkbox"/> アルرژی対応食品(アレルギーがある場合)	<input type="checkbox"/> 常備薬(胃腸薬、かぜ薬など) <input type="checkbox"/> 包帯、ガーゼ、ばんそうこう <input type="checkbox"/> 傷薬、消毒薬 <input type="checkbox"/> 持病のある方の薬 <input type="checkbox"/> ヘルメット、防災ずきん <input type="checkbox"/> ホイッスル <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> 消毒液	<input type="checkbox"/> 現金(小銭も必要) <input type="checkbox"/> 預貯金通帳、印鑑 <input type="checkbox"/> クレジットカード類 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 免許証など(身分を証明するもの)
衣類など	日用品など	
<input type="checkbox"/> 衣類(厚手物と薄い物) <input type="checkbox"/> 下着類 <input type="checkbox"/> タオル、毛布 <input type="checkbox"/> 手袋、軍手 <input type="checkbox"/> 寝袋 <input type="checkbox"/> 雨具	<input type="checkbox"/> ポリ袋(ビニール袋) <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> ろうそく、ライター <input type="checkbox"/> ナイス、缶切り <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> 懐中電灯(予備電池) <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(予備電池)	<input type="checkbox"/> 携帯電話(充電器・バッテリー) <input type="checkbox"/> 筆記用具(油性マジック) <input type="checkbox"/> 洗面用具 <input type="checkbox"/> マグネ <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 生理用品
<input type="checkbox"/> 布ガムテープ <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> 地図(ハザードマップ)	<input type="checkbox"/> 折り紙 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 生理用品	

「循環備蓄(ローリングストック)」を心がけましょう
循環備蓄とは、備蓄食料・飲料水などの保存期限が切れる前に消費し、その分だけ新たに補充して常に一定量のストックがある状態を保つことをいいます。定期的に古い備蓄品から消費することで無駄を出さず、また、いざというときに期限切れで使えなくなることを防ぎましょう。

災害時の連絡方法・情報の入手先

災害時の連絡方法を家族で確認しておきましょう。また、田辺市の「防災・行政メール」に登録しておきましょう。

災害伝言ダイヤル 177
電話を用いて安否情報(伝言)の録音・再生を行うことができます。(登録方法)
① 177にダイヤル
② 録音は1 再生は2
③ 被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル
④ 音声ガイダンスに従い、録音/再生

田辺市防災行政情報システム『防災・行政メール』
気象警報や避難情報などの災害に関する情報をメールでお知らせします。(登録方法)
① Regist@bousaigyousei.aamail.aikis.jp にEメールを送信します。(メールアドレスが変更登録されます)
② その直後に登録確認メールが送られてきますので、そのメールに記載されておりますURL(ホームページアドレス)にアクセスします。
③ 確認ページが表示されますので登録を完了させます。
④ その後、情報が発信された場合「防災・行政メール」として送られてきます。
URL ▶ <http://bousaigyousei.aamail.aikis.jp/>

田辺市ホームページ
田辺市の防災に関する情報などを提供しています。
URL ▶ <http://www.city.tanabe.lg.jp/>

秋津町地区 における主な避難場所と避難経路

会津小学校
会津小学校の外階段①
会津保育所
会津小学校
会津小学校
会津小学校の外階段②
会津小学校の外階段③
会津小学校の外階段④

1階の扉を破って屋上へ避難
3階の扉を破って屋上へ避難

関西電力社宅駐車場(寮)
避難経路①
避難経路②
避難経路③
避難経路④
リハビリドあきづ